

平成30年2月28日

保護者の皆様へ

荒尾市立平井小学校
校長 猿渡 徳幸

学校評価アンケート（後期）集計結果について（報告）

早春の候、保護者の皆様には、平素から本校教育にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、1月に実施しました学校評価アンケート（後期）にご協力いただき、誠にありがとうございました。前期と同様、後期も高い評価をいただきましたことは、保護者の皆様の本校教育に対する期待の大きさであると真摯に受け止めております。以下に結果と対策についてご報告いたします。なお、学校評価については、学校評議員会及び学校関係者評価委員会でもご意見をいただいております。

引き続き、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

前期の結果を踏まえ、後期には、①学力の向上、②基本的生活習慣の定着、③望ましい人間関係づくり、④読書活動について、重点的に取り組みましたが、後期アンケートの結果は以下のとおりでした。この4項目を引き続き重点取組事項として取り組んでいきます。

【提出率93.5%】

重点取組事項	指標（アンケート項目）	前期	後期	差	達成
①学力の向上	（児⑩）読んだり、書いたり、計算したりなどの力が身につけている	3.58	3.62	+0.04 ↑	○
	（保④）子どもは、読み書き計算などの基礎的な学力がついている	3.21	3.22	+0.01	—
②基本的生活習慣の定着	（児③）元気なあいさつ、後片付け、廊下を歩くをきちんと守っている	3.40	3.41	+0.01	○
	（保③）子どもは、基本的なマナー（挨拶、言葉遣い、後始末など）を身に付けている	2.95	3.04	+0.09 ↑	▲
③望ましい人間関係づくり	（児⑦）誰かがつらい思いをしているときは、一緒に考えたり、励ましたりしている	3.44	3.41	-0.03	○
	（保⑦）子どもは誰かがつらい思いをしているとき、一緒に考えるなど友達に寄り添う姿がある	3.18	3.10	-0.08 ↓	▲
④読書活動	（児⑩）図書室によく行ったり、よく読書をしたりしている	3.37	3.25	-0.12 ↓	—

※数値については、「あてはまる」を4、「大体あてはまる」を3、「あまりあてはまらない」を2、「あてはまらない」を1として換算し、その平均を出したものです。なお、「わからない」は除いています。

1 児童アンケートから（1月末に実施）

児童に対して1月末に学級でアンケートをとり、自分の生活を見つめ直す機会としました。

(1) 評価の高かった項目（3.75以上）

児童の評価がとても高かった項目は次のとおりです。

- 1 「登下校など、いつも交通事故に気をつけている」（3.91）
- 2 「先生は、自分や相手の心を大切にし、命を大切にすることを教えてくれる」（3.81）
- 3 「先生は、きまりや約束を大切にしよういつも注意してくれる」（3.77）
- 4 「先生は、わかりやすく勉強を教えてくれる」（3.76）
- 5 「先生は、いじめや困っている時に相談ののってくれる。」（3.76）

(2) 今後考えていきたい項目（3.35以下）

- 1 「図書室に行ったり、よく読書をしたりしている」（3.25）
- 2 「家では、テレビを見る時間やゲームをする時間を決めている」（3.31）
- 3 「家では、よく手伝いや仕事をしている」（3.35）

(3) これまでの取組と今後に向けて

◎基礎的・基本的な学力の確実な定着を図り、学力の向上を目指します。

○前期から、全校で「あらおベーシック」（めあて—話し合い—まとめ・振り返り）という指導の流れの徹底）の推進を図り、わかる授業、主体的な学びのある授業を目指してきました。その結果、子ども達は、概ね学習に落ち着いて取り組んでいます。そして、授業中に「分かった」と感じている児童が増えてきました。

○「チャレンジ10」（5校時前の10分間の学力充実時間）を計画的に実施してきました。前期は視写と計算練習に取り組むことで、集中して取り組む姿が見られるようになりました。後期は、基礎的・基本的な内容の漢字や言語事項、計算の繰り返し練習等を行ってきました。

▲家庭学習の習慣化については、ご家庭でのご協力のもと、時間的な目安（「10分×学年+10分」以上）については、かなり定着してきましたが、まだ、個人差もあります。「チャレンジ10」の内容を家庭学習につなげたり、家庭学習週間を設定したりなど、家庭学習の定着に取り組んでいます。

◎読書活動に力を入れます。

○本校では、定期的に各学年の保護者の皆様による読み聞かせが行われ、また、毎週月曜日の昼休みには、「てぶくろの会」の皆様による読み聞かせも行われています。おかげさまで、子ども達は自然に読書のよさを感じています。

○児童が行きたくなる図書館づくりとして、学校司書と協力し、新刊図書や季節にあった本の

展示に努め、毎月展示物を張り替えるなど環境整備に取り組みました。

○毎週月曜日の朝の読書の充実を図るため、荒尾市立図書館から学級文庫として50冊の図書を置きました。

▲1人年間100冊の読書目標冊数への挑戦をし、100冊達成の児童には、図書委員会から手作りの葉をプレゼントをするようにしました。早い児童は、もう達成していますが、まだまだの児童もいます。これからの児童へ積極的に本を借りるように働きかけ、児童の実態に合った目標に到達するように励ましていきます。

2 保護者アンケートから(1月末に実施)

(1) 評価の高かった項目(3.6以上)

前期に引き続き、とても高い評価をいただきました。評価がとても高かった項目は次のとおりです。

- | | |
|---|---------------------------------|
| 1 | 子どもを平井小に通わせてよかったと思う。(3.71) |
| 2 | 子どもは楽しく学校に通っている。(3.64) |
| 3 | 授業参観や運動会等の行事には積極的に参加している。(3.63) |

(2) 今後考えていきたい項目(3.2以下)

どの項目も高い評価をいただきましたが、今後考えていきたい項目は次のとおりです。

- | | |
|---|---|
| 1 | 家庭で、テレビやゲームの時間を決めており、会話など親子のふれあいの時間をつくっている。(3.02) |
| 2 | 子どもは、基本的な生活マナー(挨拶、言葉遣い、後始末など)を身につけている。(3.04) |
| 3 | 子どもは、誰かがつらい思いをしているとき、一緒に考えるなど友だちに寄り添う姿がある。(3.10) |

(3) これまでの取組と今後に向けて

◎基本的生活習慣の定着を目指します。

○さわやか検査(毎月2回、ハンカチ、爪切り、朝食摂取等の調査)を行いました。担任からの声掛けもあり、だんだんと習慣化してきました。

○荒尾第三中学校区「早寝・早起き・朝ご飯、メディアコントロール調査」を2回実施し、ご家庭で基本的生活習慣の育成について振り返っていただく機会としました。

▲「メディアコントロールの振り返り」を毎月行い、テレビやゲームなどのメディアの適切な視聴について指導をしてきました。全校的には、メディア視聴の時間が減少し、良い傾向にあります。ただ、個人差も大きく、1日2時間以上テレビやゲームをしている子どももいます。長時間のメディア視聴は、成長期の児童にとって、視力低下だけでなく、心身の成長に良くない影響を与えることが多いと言われています。是非、家庭でメディア視聴の時間について話題にさせていただき、基本的生活習慣の定着にご協力ください。

◎児童の望ましい人間関係づくりを継続していきます。

○豊かな心を育てる道徳の時間の充実を図るため、校内研修として道徳の授業づくりの研修を行いました。道徳の授業で考えたことを、実際の学校生活の中で振り返るようにしています。

○「にこにこタイム」(毎週木曜日の朝活動の15分間、子ども達の人間関係づくりを育む時間)では、同学年だけでなく、異学年との交流も行い、多様な感じ方を認め合う機会を多く設定しています。今後もいじめのない、お互いのよさを認め合う、望ましい人間関係づくりを行っていきます。

▲毎月の学校生活アンケートを踏まえた教育相談(いじめや悩んでいることを相談する時間、相談窓口は担任または教頭)の実施をしました。教育相談をすることで、児童の悩みに寄り添うことができました。これからも、気軽に相談ができるようにし、いじめのない学校をめざし、児童みんなが笑顔で学校に登校できるようにします。

3 第2回学校評議員会(兼 学校関係者評価委員会)の協議から

2月20日(火)に第2回学校評議員会(兼 学校関係者評価委員会)を開催し、学校評議員等の皆様に、今回の学校評価アンケートの結果について協議いただきました。全体として、学校の様子等について高い評価をいただきましたが、今後、さらによりよい学校となるように下記のご意見をいただきました。

①前期の学校評価アンケートでは、同じ評価項目において、保護の評価と児童の評価で大きく違っていた項目があったが、今回の学校評価アンケートの結果では大きな差が無くなっていた。保護者が子どもの状況をよく把握されるようになったと感じる。

②子どもの学習習慣の育成や基礎学力の定着については、保護者の協力がとても重要だと感じる。鉛筆や筆箱等の学習用具等は、保護者は子ども任せにせず、学校からの「学習のきまり」を守っているか、見守り、励ましていくことが必要だと思う。

③平山バイパスの開通や新しい宿差地点の開通で通学路の安全確保が気になったが、学校は直ぐに保護者や地域の方々と協力して対応し、安全な通学路に変更をしたので安心した。今後も、保護者や地域と連携して、児童の安全確保をお願いしたい。